

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2007-266692(P2007-266692A)

【公開日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-039

【出願番号】特願2006-85460(P2006-85460)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

H 04 N 5/232 A

H 04 N 5/225 F

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月15日(2009.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像レンズを通して撮像面上に結像させた被写体の像を撮像する撮像装置において、
前記撮像レンズのピント位置合わせを自動的に連続して行うコンティニュアスAFを実行するオートフォーカス手段と、

顔であるか否かを判別するための判別情報を記憶させた判別情報記憶手段と、

前記撮像レンズを通して撮像された画像中から顔を表す画像を前記判別情報に基づいて検出する検出手段と、

前記検出手段による前記検出の結果を有効利用するための撮影条件が変動のない安定した状態であることを示す前提条件を記憶させた前提条件記憶手段と、

前記コンティニュアスAF制御下における前記撮像装置による撮像状態が、前記前提条件を満たしているか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により前記撮像装置による撮像状態が前記前提条件を満たしていると判定された場合には前記検出手段による検出を実行させ、前記撮像装置による撮像状態が前記前提条件を満たしていないと判定された場合には前記検出手段による検出を実行させないように制御する制御手段とを備えていることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記前提条件が、前記撮像レンズの画角が固定された状態であることを特徴とする請求項1記載の撮像装置。

【請求項3】

前記撮像装置の動きを検出する加速度センサをさらに備え、

前記前提条件が、前記加速度センサにより検出された前記撮像装置が静止状態であることを特徴とする請求項1記載の撮像装置。

【請求項4】

前記前提条件が、前記撮像面上での受光光量が一定であることを特徴とする請求項1記

載の撮像装置。

【請求項 5】

前記前提条件が、前記コンティニュアス A F を実行しているオートフォーカス手段が前記撮像レンズのピント位置を一定にしている状態であることを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記前提条件が、前記撮像された画像の色を示す値が一定であることを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 7】

被写体の移動を検出し検出結果を出力する被写体移動検出手段を備え、

前記前提条件が、前記被写体移動検出手段からの出力が被写体の位置が一定であることを示す状態であることを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記前提条件が、前記撮像装置の撮像モードを、顔検出モード、人物撮像モード、セルフタイマー撮像モード、または自分撮像モードに設定した状態であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載の撮像装置。

【請求項 9】

前記前提条件が、前記オートフォーカス手段を駆動するための電池に蓄積されているエネルギーの残量が予め定められた閾値以下であることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか 1 項記載の撮像装置。

【請求項 10】

前記前提条件記憶手段が、前記前提条件の候補となる互いに異なる複数の候補前提条件を記憶させたものであり、前記複数の候補前提条件のうちから前記判定に用いる前提条件を選択する選択手段を備えていることを特徴とする請求項 1 項記載の撮像装置。

【請求項 11】

撮像レンズを通して撮像面上に結像させた被写体の像を撮像する撮像方法において、

前記撮像レンズのピント位置合わせを自動的に連続して行うコンティニュアス A F 制御下において撮像を行うときの撮像状態が、前記撮像レンズを通して撮像された画像中から顔を表す画像を検出する該検出の結果を有効利用するための前記撮影条件が変動のない安定した状態であることを示す前提条件を満たしているか否かを判定し、

前記判定により前記撮像を行うときの撮像状態が前記前提条件を満たしていると判定された場合には前記検出を実行させ、前記撮像を行うときの撮像状態が前記前提条件を満たしていないと判定された場合には前記検出を実行させないようにすることを特徴とする撮像方法。